

○ 令和7年度学校教育の努力点とその推進計画

(1) 研究主題

わくわく学ぶ こだまっ子 ～探究活動を充実させるために～

(2) 研究主題について

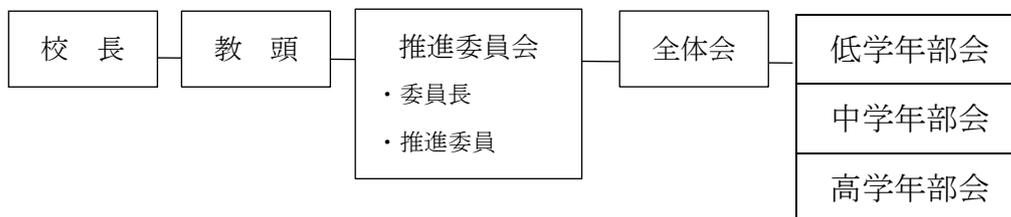
本校では昨年度から、生活科と総合的な学習の時間において、問題解決的な学習を繰り返す探究的な学習に取り組んできている。しかし、子どもたちが自ら興味関心をもって授業を行っているかという点、まだ疑問が残る。教師主導の授業形態が多く、子どもたちが主体的になる授業形態がまだ少ないことも、原因の一つと考えられる。

昨年度の実践から、子どもたちが自ら、「調べたい!」「解決したい!」と思い、調べる活動に向かっていくためには、見付ける活動がとても重要であることが分かった。見付ける活動の中で、子どもたちが見て・聞いて・体験することで、自分なりの問いが生まれ、「子どもが自ら進んで考える」ことにつながっていくからである。

また、2年次は、問いを振り返り、集めた情報の中から自分なりの答えを見付ける「解決する活動」や、探究活動の成果や課題、自分が学んだことや成長したことをまとめて伝える「まとめる活動」の充実を図りたい。「解決する活動」と「まとめる活動」を充実させるためには、調べる方法が重要になってくるため、インターネットや図書資料だけでなく、人との交流も充実させていきたい。

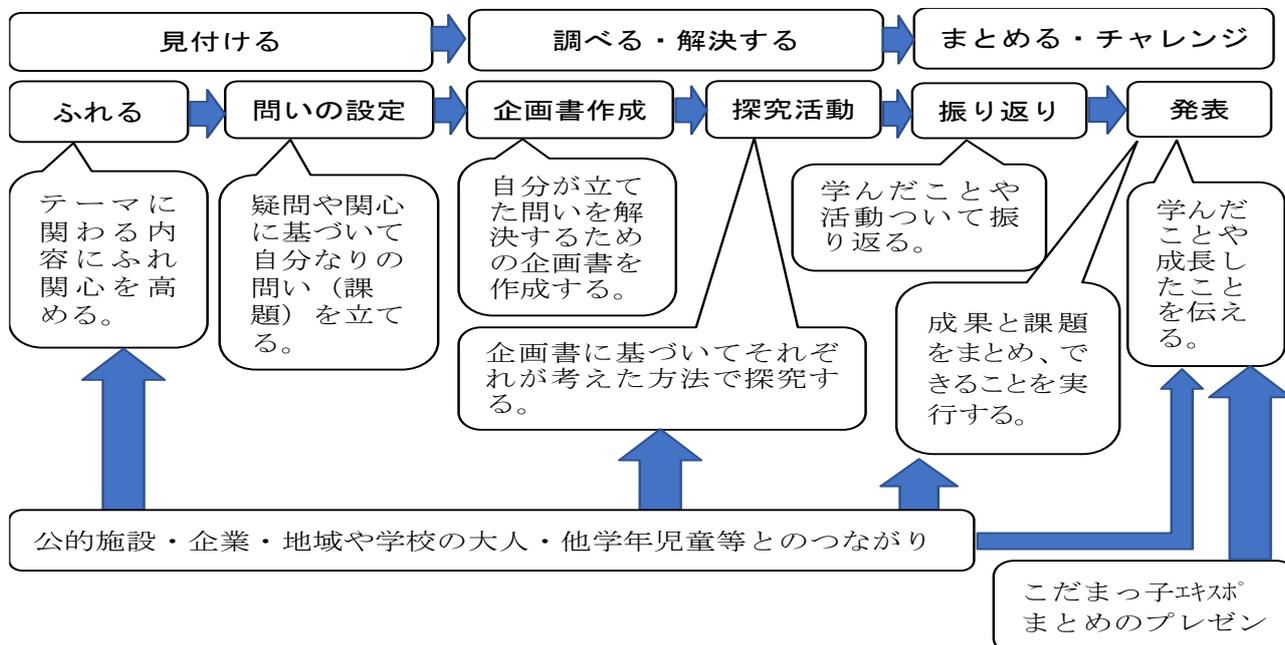
◎ 自ら問いを立て、自分なりの方法で、課題解決に向けて探究できる子

(3) 推進の組織



(4) 研究の進め方

下のような問題解決的な活動が繰り返されていく一連の学習活動を行っていく。



【ふれる活動とは】

実体験の経験が乏しい子どもたちが、自分事としてプロジェクトを立ち上げるための仕掛けが「ふれる」活動である。この活動が充実することによって課題やゴールが設定しやすくなり、探究が深まっていく。

【学習活動の説明】

- ① 見付ける活動では、児童の疑問や関心を引き出しながら、自分なりの問い（課題）を立てることができようにする。
 - ② 調べる活動では、課題解決のために必要な情報を、どのような方法で調べるのか自己選択・自己決定しながら、自分なりの方法で調べることができるようにする。また、新たな問いを生み出すことができるようにする。
 - ③ 解決する活動では、自分が立てた問い（新たな問い）を振り返り、集めた情報から自分なりの答えを見付けることができるようにする。
 - ④ まとめる活動では、探究活動の成果や課題、自分が学んだことや成長したことをまとめ、「こだまっ子エキスポ」で伝えることができるようにする。
 - ⑤ チャレンジする活動では、①～④で習得した知識や技能を活用して、興味や関心をもって、自分なりにチャレンジすることができるプランを考え、実行できるようにする。
- ・ 1人1回（学年で1学期中に1回、2学期中に1回公開できるようにする）、努力点公開授業を行う。授業の前には、指導案や資料などを全体に配付する。部会内の授業は、時間を分けるなど工夫してできる限り参観し、授業実践の前後には、部会内で検討会を行う。
 - ・ 12月の授業参観で、保護者向けに努力点の授業公開をする。

(5) 研究計画

学 期	主 な 研 究 内 容
1	<ul style="list-style-type: none">○ 本年度の方向性について○ 本年度の取り組みについて○ 教材研究・授業実践○ 1学期の活動の反省と2学期の計画○ 教材研究と2学期の計画
2	<ul style="list-style-type: none">○ 低中高学年2学期の計画○ 教材研究・授業実践○ 授業参観での保護者への授業公開○ 2学期の活動の反省
3	<ul style="list-style-type: none">○ 「こだまっ子エキスポ」での保護者への授業公開○ 今年度の実践の反省と次年度の方向性